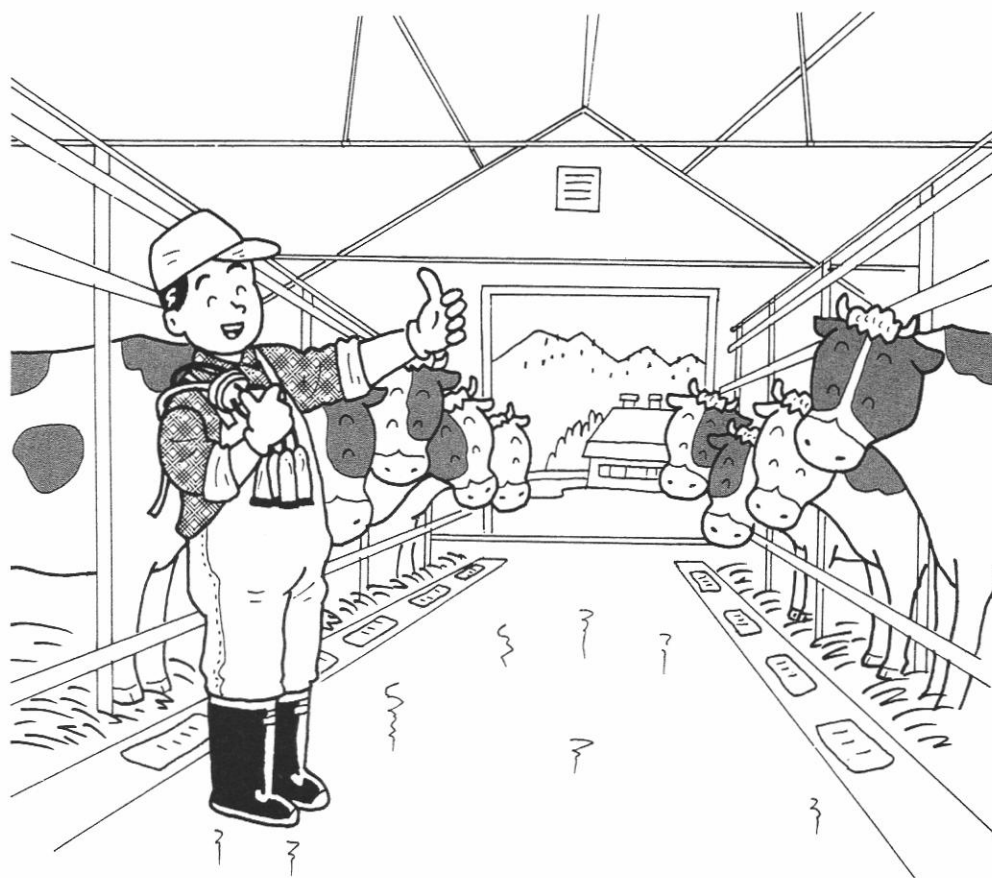


Ⅲ きれいな生産環境づくり

小さなことから
コツコツと……………!



1 生産施設周辺の環境整備

うす暗くジメジメしたホコリっぽい畜舎。どろんこ状態のパドック。散在したラップフィルムなど畜舎周辺の環境には汚れなどの気になる点が数多く見うけられます。

毎日、同じところで生活し、仕事をしていると何が不便なのか、なにが汚れているのか、何が仕事の効率を下げているのか、案外気がつきません。他人に教えてもらったりすることで働きやすくなったり気持ちが明るくなったりしたことが、私達もときどき経験することがあります。

この機会に、客観的な気持ちで、自分の生産施設周辺の環境を見つめ直してはいかがでしょうか。

2 根室特有の生産環境

(1) 冷涼・多湿の夏の気候

根室地方の気候は、冬は雪が少なく快晴の日が多いのですが、夏は冷涼で多湿な日が続きます。

ジメジメ・ドロドロ・グチャグチャを改善するためには、まず乾燥が大切なのですが、それを難しくしているのが、この冷涼・多湿の気候です。

(2) 地下水位が高く、河川の多い地形

地下水位が高いということは、それだけ排水がスムーズにいかないということを意味します。排水が悪ければパドックが乾きづらい、草地の低地にはトラクタが入れないなどの問題が起こります。

また、河川が多いため、糞尿散布時の河川の汚染、堆肥盤から河川へ直接流出するなどの危険性をいつもはらんでいます。

(3) 酪農専業地域

根室地方は酪農専業地帯ということで、有利な面も多々ありますが、不便なこともあります。たとえば、酪農と畑作の地帯であれば、糞尿と麦かん・豆がらなどが交換されたりしますが、酪農専業地帯では、ほとんどのものが、最後まで自分で処理しなければなりません。また、まわりが同業ばかりだと糞尿を公道に落としても気にしないなど、“皆で渡れば怖くない”式になりやすくなります。

